



Catalyst 6500 シリーズ コンテンツスイッチング モジュール インストールレーションノート

Customer Order Number: DOC-J-7815751=

製品番号 : WS-X6066-SLB-APC

このマニュアルでは、Catalyst 6500 シリーズスイッチの Content Switching Module (CSM) のハードウェアおよびソフトウェア要件と取り付け手順を説明します。

マニュアルの内容

このマニュアルの内容は、次のとおりです。

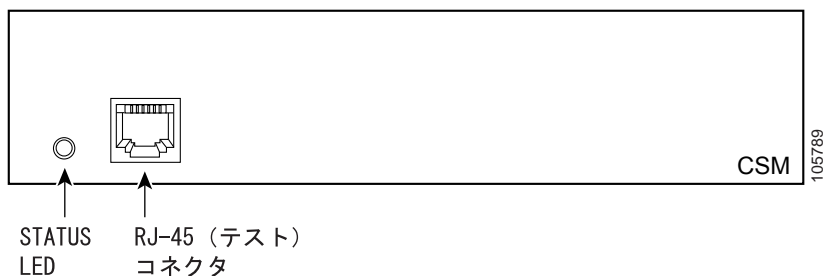
- [前面パネル \(p.3\)](#)
- [環境およびシステム要件 \(p.5\)](#)
- [安全上の警告 \(p.6\)](#)
- [CSM の取り付け準備 \(p.7\)](#)
- [必要な工具 \(p.7\)](#)
- [CSM の取り付け \(p.8\)](#)
- [取り付けの確認 \(p.14\)](#)
- [モジュールの取り外し \(p.15\)](#)
- [関連資料 \(p.16\)](#)
- [マニュアルの入手方法 \(p.17\)](#)
- [シスコ製品のセキュリティ \(p.18\)](#)
- [テクニカル サポート \(p.19\)](#)
- [その他の資料および情報の入手方法 \(p.21\)](#)

前面パネル

ここでは、CSM の物理的な属性を説明します。

図 1 に、CSM の前面パネルを示します。

図 1 CSM の前面パネル



(注) RJ-45 コネクタは着脱式プレートで覆われています。

STATUS LED

CSM の起動時、各種ハードウェア コンポーネントが初期化され、スーパーバイザ エンジンとの通信が行われます。STATUS LED は、スーパーバイザ エンジンの動作と初期化の結果を示します。通常の初期化シーケンスの間に、STATUS LED は消灯状態からレッド、オレンジ、グリーンへと変化します。



(注) スーパーバイザ エンジンの LED の詳細については、『*Catalyst 6500 Series Switch Module Installation Guide*』を参照してください。

表 1 に、STATUS LED の動作を示します。

表 1 CSM の STATUS LED

色	説明
消灯	<ul style="list-style-type: none"> モジュールはスーパーバイザ エンジンからの電力供給を待機しています。 モジュールがオンラインになっていません。 モジュールに電力が供給されていません。次の原因が考えられます。 <ul style="list-style-type: none"> CSM に電力が供給されていない。 モジュール温度が制限値を超えている¹。
レッド	<ul style="list-style-type: none"> スーパーバイザ エンジンによるリセットでモジュールが解放され、起動中です。 ブート コードの実行に失敗した場合、LED は起動後もレッドのままです。

表 1 CSM の STATUS LED (続き)

色	説明
オレンジ	<ul style="list-style-type: none"> モジュールがハードウェアを初期化中、またはスーパバイザ エンジンと通信中です。 初期化シーケンス中にエラーが発生しました。 モジュールは起動時に Field Programmable Gate Array (FPGA) をダウンロードできませんでしたが、初期化シーケンスを続行し、スーパバイザ エンジンからモジュール オンライン ステータスを得ます。 モジュールはスーパバイザ エンジンからモジュール オンライン ステータスを得ていません。この問題は、CSM に発行された外部ループバックテストでスーパバイザ エンジンがエラーを検出した場合に発生します。
グリーン	<ul style="list-style-type: none"> モジュールは動作可能です。スーパバイザ エンジンからモジュールにモジュール オンライン ステータスが与えられています。
グリーンからオレンジ	<ul style="list-style-type: none"> スーパバイザ エンジンの CLI²で set module disable mod コマンドを使用した結果、モジュールがディセーブルになっています。

1. CSM の 4 つの各センサの温度を表示するには、**show environment temperature mod** コマンドを入力します。
2. CLI とは、コマンドラインインターフェイスです。

RJ-45 コネクタ

着脱式プレートで覆われた RJ-45 コネクタを使用して、管理ステーション装置またはテスト装置を接続します。このコネクタはフィールド エンジニアがテストを行ったり、ダンプ情報を取得したりするために使用します。

環境およびシステム要件

ここでは、環境およびシステム要件を説明します。

- [環境要件 \(p.5\)](#)
- [システム要件 \(p.5\)](#)

環境要件

表 2 に、CSM の環境要件を示します。

表 2 CSM の環境要件

項目	仕様
温度 (動作時)	0 ~ 40°C (32 ~ 104°F)
温度 (非動作時)	-40 ~ 70°C (-40 ~ 158°F)
湿度 (RH)、動作時の周囲湿度 (結露しないこと)	10 ~ 90%
非動作時の相対湿度 (結露しないこと)	5 ~ 95%

システム要件

CSM を Catalyst 6500 シリーズ スイッチに取り付ける前に、『*Release Notes for Catalyst 6500 Series Content Switching Module*』を参照し、スイッチがハードウェア要件およびソフトウェア要件を満たしていることを確認します。



注意

Catalyst 6500 シリーズ スイッチ内蔵の Multilayer Switch Feature Card (MSFC; マルチレイヤ スイッチ フィーチャ カード) を使用して、CSM のクライアント側またはサーバ側のどちらにでもトラフィックを転送できますが、(ポリシーベース ルーティングを使用しないかぎり) 両方のトラフィックを同時に転送することはできません。

安全上の警告



警告

安全上の重要事項

「危険」の意味です。人身事故を予防するための注意事項が記述されています。機器の取り扱い作業を行うときは、電気回路の危険性に注意し、一般的な事故防止対策に留意してください。

これらの注意事項を保存しておいてください。



警告

この装置の設置、交換、または保守は、訓練を受けた相応の資格のある人が行ってください。



警告

システムの作動中には、バックプレーンに危険な電圧またはエネルギーが存在します。保守を行うときは注意してください。



警告

ブランクの前面プレートおよびカバー パネルには、3つの重要な機能があります。シャーシ内の危険な電圧および電流による感電を防ぐこと、他の装置への EMI（電磁波干渉）の影響を防ぐこと、およびシャーシ内の空気の流れを適切な状態に保つことです。必ずすべてのカード、前面プレート、前面カバー、および背面カバーをスロットに正しく取り付けられた状態で、システムを運用してください。



警告

作業中は、カードの ESD（静電気放電）破壊を防ぐため、必ず静電気防止用リストストラップを着用してください。感電する危険があるので、手や金属工具がバックプレーンに直接触れないようにしてください。

CSM の取り付け準備

CSM を取り付ける前に、次の機器が使用できることを確認してください。

- Catalyst 6500 シリーズ スイッチ シャーシ
- 設定作業で使用する、Telnet 接続またはコンソール接続を介して利用可能な管理ステーション



注意

WS-X6066-SLB-APC CSM はファブリックに対し有効ではありません。

必要な工具

Catalyst 6500 シリーズ スイッチに CSM を取り付けるには、次の工具が必要です。

- マイナス ドライバ
- プラス ドライバ
- 静電気防止用リストストラップまたはアース器具
- 静電気防止用マットまたは静電気防止材

CSM を扱うときは、必ず静電気防止用リストストラップなどのアース器具を使用して、ESD を防止してください。

CSM の取り付け



注意

静電破壊を防止するために、モジュールを扱うときには必ず、フレームの端を持ってください。



(注)

スーパーバイザ エンジン（冗長スーパーバイザ エンジンがある場合）をはじめ、すべてのモジュールはホットスワップをサポートしています。システム電源を中断したり、他のソフトウェアまたはインターフェイスをシャットダウンしたりせずに、モジュールを追加、交換、または取り外しできます。ホットスワップ モジュールの詳細については、『*Catalyst 6500 Series Switch Module Installation Guide*』を参照してください。



警告

作業中は、モジュールの ESD 破壊を防ぐため、必ず静電気防止用リストストラップを着用してください。感電する危険があるので、手や金属工具がバックプレーンに直接触れないようにしてください。

シャーシにモジュールを取り付ける手順は、次のとおりです。

- ステップ 1 CSM 用のスロットを選択します。
- ステップ 2 モジュールのポートにインターフェイス機器を直接接続できるだけのスペースがあることを確認します。可能であれば、モジュール フィラー プレートが取り付けられている、空のスロットの間にモジュールを搭載してください。
- ステップ 3 シャーシに搭載されているすべてのモジュールについて、非脱落型ネジがきちんと締まっていることを確認します。

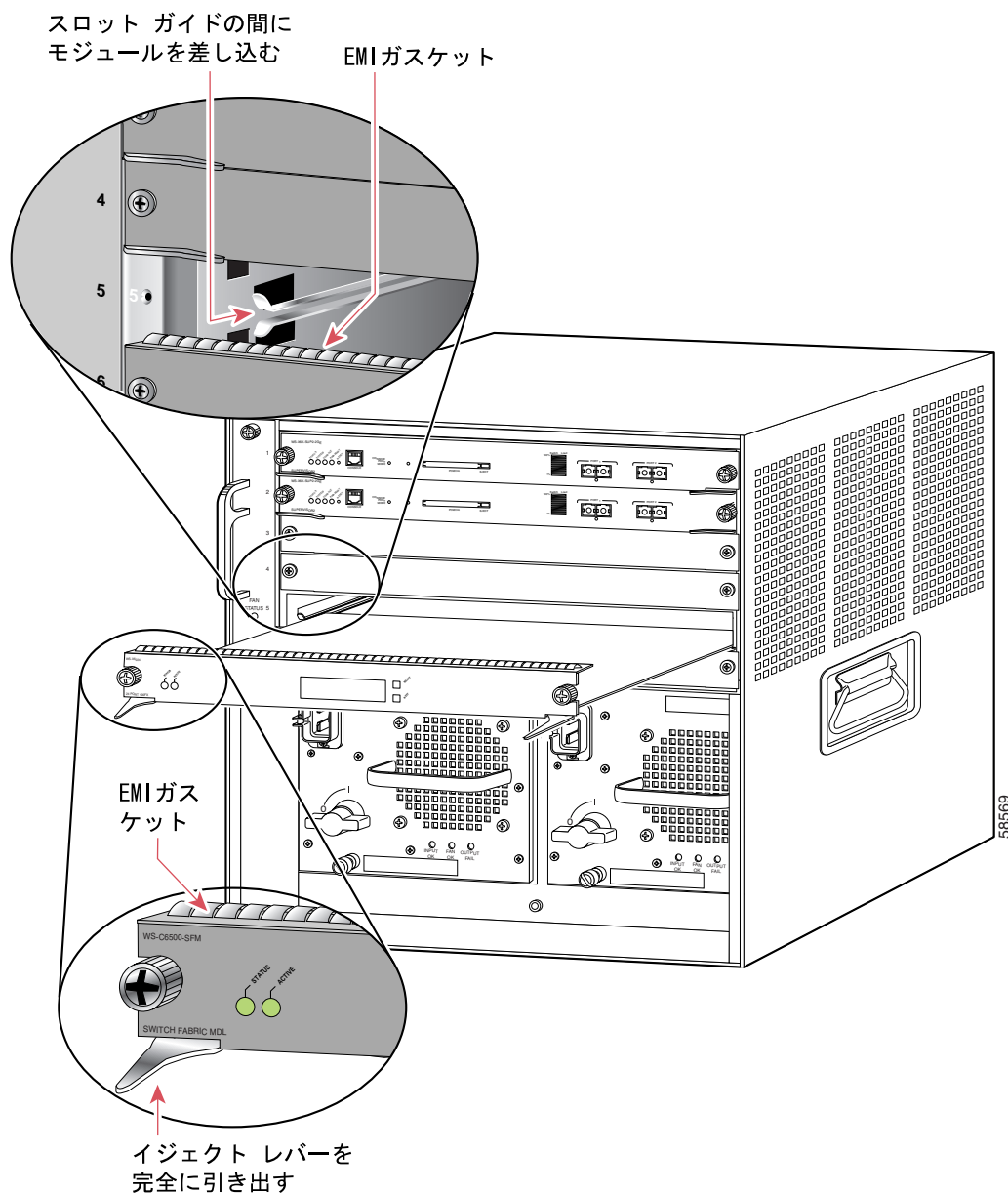
この手順によって、全モジュールの EMI ガasket が完全に圧縮されていることが保証され、交換用モジュールに最大限のスペースを確保できます。



(注) 非脱落型ネジが緩んでいると、搭載モジュールの EMI ガasket が空いているスロットに隣りのモジュールを押し出し、空きスペースが小さくなって、交換用モジュールの取り付けが困難になります。

- ステップ 4 モジュール フィラー プレートの 2 本のなべネジを外し、フィラー プレートを取り外します（モジュールの取り外し手順については、「[モジュールの取り外し](#)」 [p.15] を参照）。
- ステップ 5 新しいモジュールまたは交換用モジュールのイジェクト レバーを両方とも完全に開いた状態にします（[図 2](#) を参照）。

図2 モジュールの取り付け（水平スロット シャーシの場合）

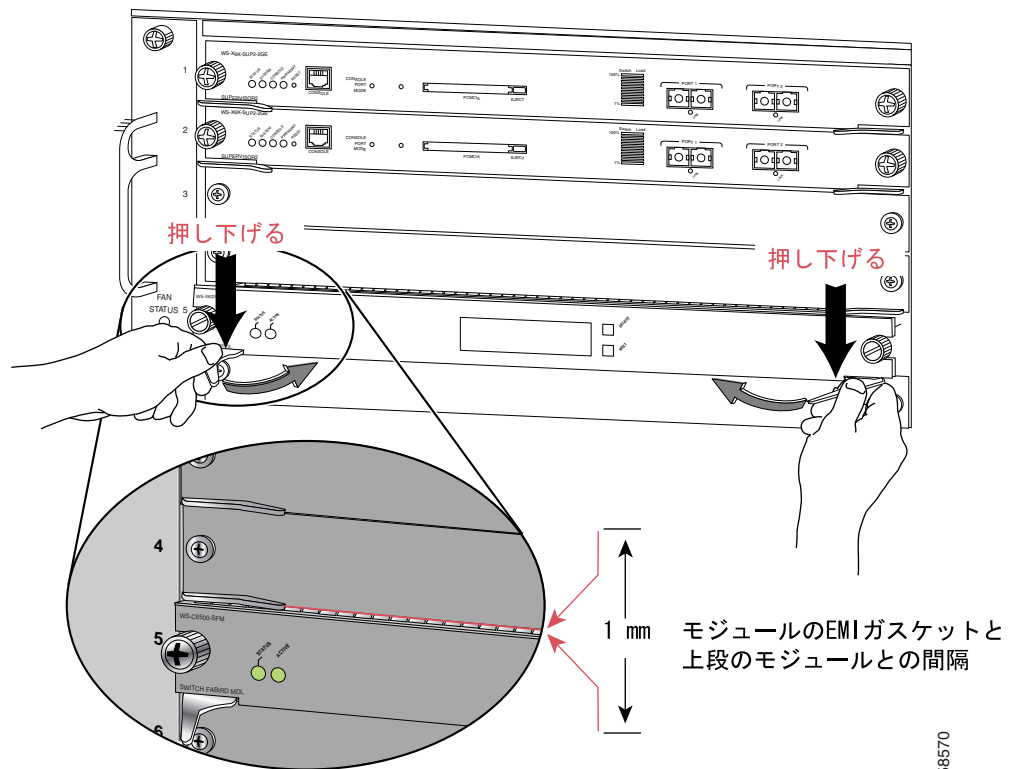


ステップ 6 シャーシスロットの方向（水平または垂直）に応じて、どちらか一方の手順に従ってください。

水平スロット

- スロットにモジュールを取り付けます。モジュール キャリアの左右がスロットの両側のスロットガイドと重なるようにします（図 2 を参照）。
- モジュール上部の EMI ガスケットが上段スロットのモジュールと接触し、左右のイジェクトレバーがモジュール前面プレートから 45 度程度に閉じるまで、モジュールをスロットに静かに押し込みます（図 3 を参照）。

図 3 EMI ガスケットの通過（水平スロット シャーシの場合）



- 両手の親指と人差し指で、左右のイジェクトレバーを押し下げて、EMI ガスケットと上段のモジュールの間に隙間を少し（0.040 インチ [1 mm]）作ります（図 3 を参照）。



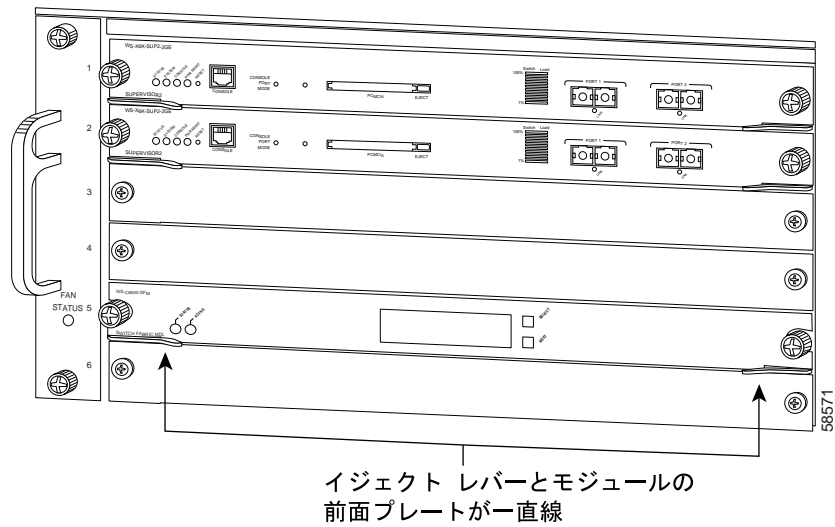
注意

強く押し下げるとレバーが曲がったり傷ついたりします。

- 押し下げながら、左右のイジェクトレバーを同時に閉じて、モジュールをバックプレーンコネクタに完全に装着します。イジェクトレバーが完全に閉じると、モジュールの前面プレートと一直線になります（図 4 を参照）。

58570

図 4 イジェクト レバーが閉じた状態（水平スロット シャーシの場合）



(注) モジュールがバックプレーン コネクタに完全に装着されていないと、エラー メッセージが表示されます。

- e. モジュールの 2 本の非脱落型ネジを締めます。

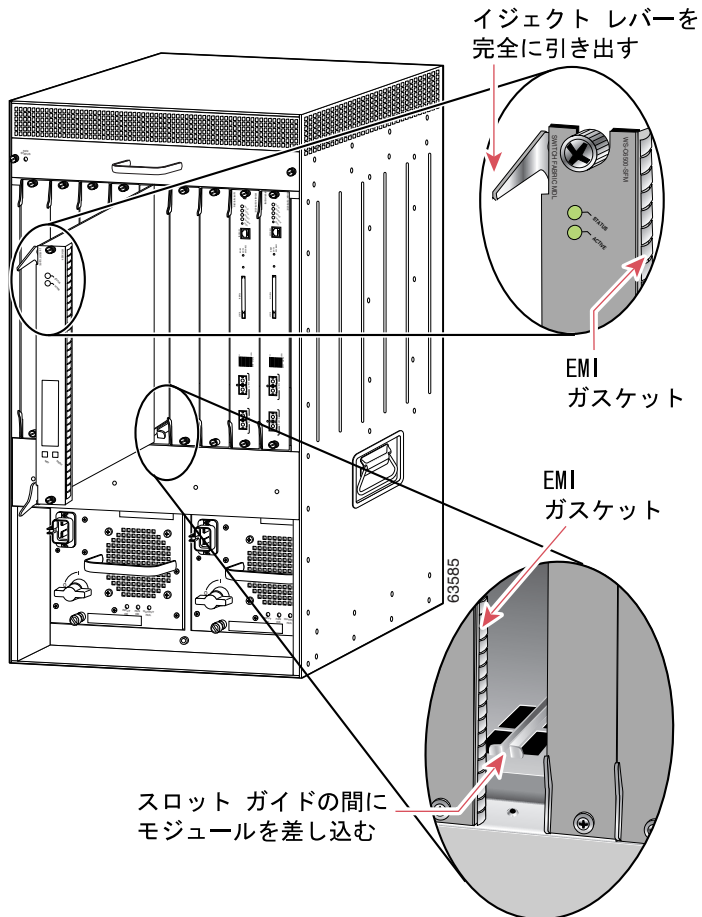


(注) イジェクト レバーが完全に閉じていることを確認してから、非脱落型ネジを締めてください。

垂直スロット

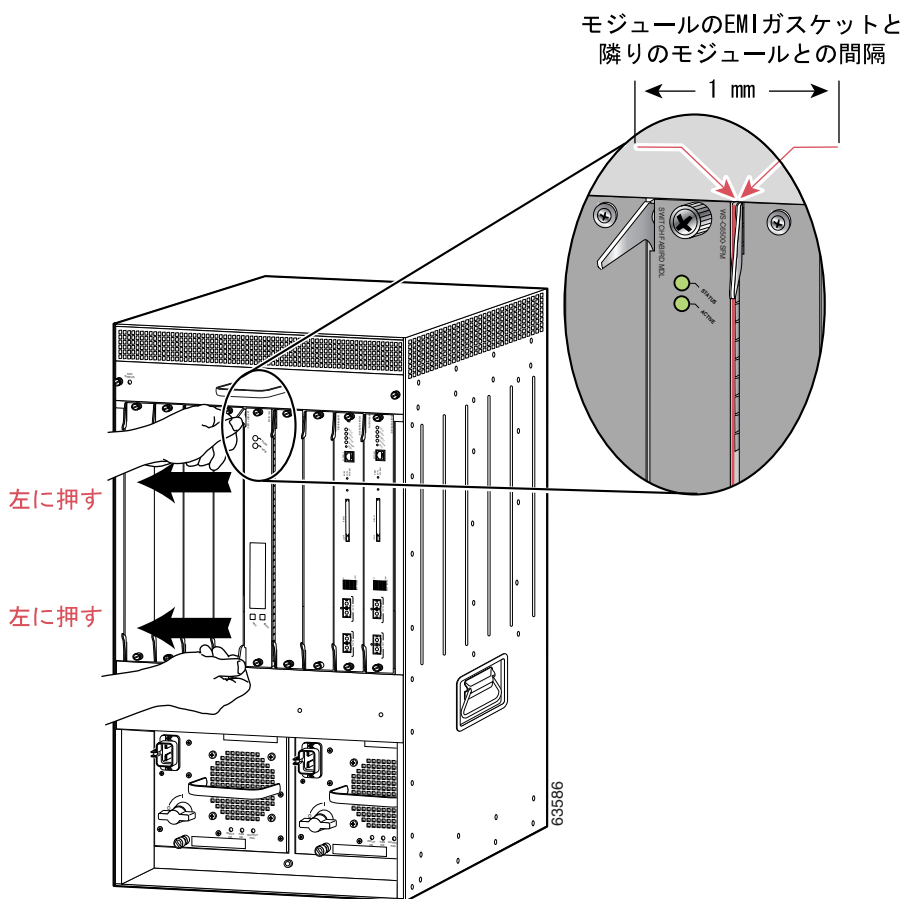
- a. スロットにモジュールを取り付けます (図 5 を参照)。モジュール キャリアの両側がスロット 上下のスロット ガイドと重なるようにします。

図 5 モジュールの取り付け (垂直スロット シャーシの場合)



- b. モジュール右側の EMI ガスケットが隣接スロットのモジュールと接触し、両方のイジェクトレバーがモジュール前面プレートから 45 度程度に閉じるまで、モジュールをスロットに静かに押し込みます (図 6 を参照)。
- c. 両手の親指と人差し指で両方のイジェクトレバーを持ち、左側に多少押しつけるようにして、モジュールを 0.040 インチ (1 mm) ほど傾け、モジュールの EMI ガスケットと隣接モジュールの間に隙間を少し作ります (図 6 を参照)。

図 6 EMI ガスケットの通過 (垂直スロット シャーシの場合)

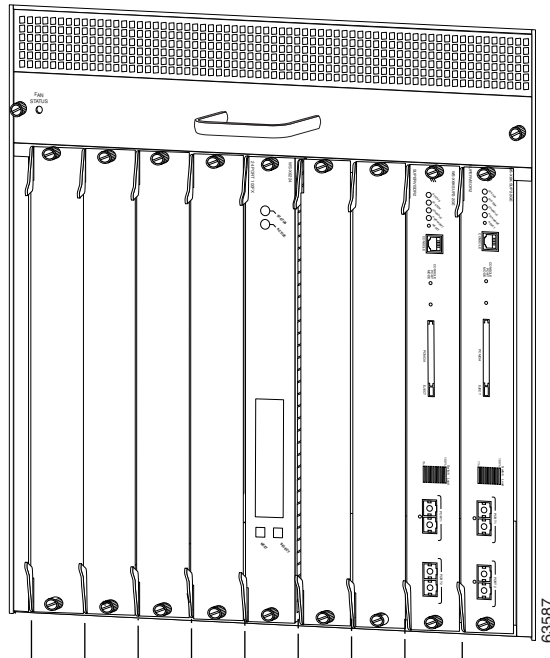


注意

イジェクトレバーを強く押しすぎると、レバーが曲がったり傷ついたりします。

- d. 押しつけながら、両方のイジェクト レバーを同時に閉じて、モジュールをバックプレーン コネクタに完全に装着します。イジェクト レバーが完全に閉じると、モジュールの前面プレートと一直線になります (図 7 を参照)。

図 7 イジェクト レバーが閉じた状態 (垂直スロット シャーシの場合)



すべてのイジェクト レバーが
モジュールの前面プレートと一直線

- e. モジュールの 2 本の非脱落型ネジを締めます。



(注) イジェクト レバーが完全に閉じていることを確認してから、非脱落型ネジを締めてください。

CSM の取り付け手順は、これで完了です。

取り付けの確認

CSM を Catalyst 6500 シリーズ スイッチに取り付けると、モジュールは起動シーケンスを自動的に実行します。介入は不要です。起動シーケンスが正常に終了すると、グリーン の STATUS LED が常に点灯した状態になります。STATUS LED がグリーンにならない場合、または別の色になった場合は、表 1 (p.3) を参照してモジュールの状態を判断してください。

モジュールの取り外し

ここでは、Catalyst 6500 シリーズ スイッチ シャーシのスロットから、既存のモジュールを取り外す手順について説明します。



注意

作業中は、モジュールの ESD 破壊を防ぐため、必ず静電気防止用リストストラップを着用してください。感電する危険があるので、手や金属工具がバックプレーンに直接触れないようにしてください。



警告

接続されていない光ファイバ ケーブルやコネクタからは目に見えないレーザー光が放射されている可能性があります。レーザー光を直視したり、光学機器を使用して直接見たりしないでください。

シャーシからモジュールを取り外す手順は、次のとおりです。

- ステップ 1** モジュールに接続されている、ネットワーク インターフェイス ケーブルをすべて外します。
- ステップ 2** シャーシに搭載されているすべてのモジュールについて、非脱落型ネジがきちんと締まっていることを確認します。

この手順によって、モジュールを取り外すことによって生まれたスペースを確実に維持できます。



(注) 非脱落型ネジが緩んでいると、搭載モジュールの EMI ガasket が空いているスロットにモジュールを押し出し、空きスペースが小さくなって、交換用モジュールの取り付けが困難になります。

- ステップ 3** モジュールの 2 本の非脱落型ネジをゆるめます。
- ステップ 4** シャーシ スロットの方向（水平または垂直）に応じて、どちらか一方の手順に従ってください。

水平スロット

- a. 左右のイジェクト レバーに親指を当てて、レバーを外側に同時に回転させ、バックプレーン コネクタからモジュールを外します。
- b. モジュール前面の端を持って、スロットの中ほどまでモジュールを引き出します。反対の手をモジュールの底面に当てて、モジュールの重量を支えます。モジュールの回路に触れないように注意してください。

垂直スロット

- a. モジュールの上下にあるイジェクト レバーに親指を当てて、レバーを外側に同時に回転させ、バックプレーン コネクタからモジュールを外します。
- b. モジュールの端を持ち、スロットからまっすぐモジュールを引き出します。モジュールの回路に触れないように注意してください。

- ステップ 5** 静電気防止用マットまたは静電気防止材などの上にモジュールを置くか、ただちに別のスロットに取り付けます。
- ステップ 6** モジュールを取り外したスロットを空のままにする場合は、モジュール フィラー プレートを取り付け、シャーシに埃が入らないように、また、シャーシの通気が正しく維持されるようにしてください。

**警告**

ブランクの前面プレートおよびカバー パネルには、3つの重要な機能があります。シャーシ内の危険な電圧および電流による感電を防ぐこと、他の装置への EMI の影響を防ぐこと、およびシャーシ内の空気の流れを適切な状態に保つことです。必ずすべてのカード、前面プレート、前面カバー、および背面カバーをスロットに正しく取り付けられた状態で、システムを運用してください。

関連資料

このマニュアルとともに以下のシスコのマニュアルも参照してください。

- 『*Release Notes for the Catalyst 6500 Series Switch Content Switching Module*』
- 『*Catalyst 6500 Series Switch Content Switching Module Configuration Note*』
- 『*Catalyst 6500 Series Switch Content Switching Module Command Reference*』
- 『*Catalyst 6500 Series Switch Cisco IOS Software Configuration Guide*』
- 『*Catalyst 6500 Series Switch Software Configuration Guide*』

マニュアルの入手方法

シスコ製品のマニュアルおよびその他の資料は、Cisco.com で入手できます。また、テクニカル サポートおよびその他のリソースは、さまざまな方法で入手することができます。ここでは、シスコ製品に関する技術情報を入手する方法について説明します。

Cisco.com

次の URL から、シスコ製品の最新資料を入手することができます。

<http://www.cisco.com/univercd/home/home.htm>

シスコの Web サイトには、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com>

<http://www.cisco.com/jp>

シスコの各国語版 Web サイトには、次の URL からアクセスしてください。

http://www.cisco.com/public/countries_languages.shtml

Documentation DVD

シスコ製品のマニュアルおよびその他の資料は、製品に付属の Documentation DVD パッケージでご利用いただけます。Documentation DVD は定期的に更新されるので、印刷資料よりも新しい情報が得られます。この DVD パッケージは、単独で入手することができます。

Cisco.com (Cisco Direct Customers) に登録されている場合、Ordering ツールまたは Cisco Marketplace から Cisco Documentation DVD (Customer Order Number DOC-DOCDVD=) を発注できます。

Cisco Ordering ツール :

<http://www.cisco.com/en/US/partner/ordering/>

Cisco Marketplace :

<http://www.cisco.com/go/marketplace/>

マニュアルの発注方法

マニュアルの発注方法については、次の URL にアクセスしてください。

http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/es_inpk/pdi.htm

シスコ製品のマニュアルは、次の方法でご発注いただけます。

- Cisco.com (Cisco Direct Customers) に登録されている場合、Ordering ツールからシスコ製品のマニュアルを発注できます。次の URL にアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/en/US/partner/ordering/>

- Cisco.com に登録されていない場合、製品を購入された代理店へお問い合わせください。

シスコ製品のセキュリティ

シスコでは、無償の Security Vulnerability Policy ポータルを次の URL で提供しています。

http://www.cisco.com/en/US/products/products_security_vulnerability_policy.html

このサイトから、以下のタスクを実行できます。

- シスコ製品における脆弱性を報告する。
- シスコ製品のセキュリティ問題に対する支援を受ける。
- シスコからのセキュリティ情報を入手するために登録を行う。

シスコ製品に関するセキュリティ勧告および注意のリストが以下の URL で確認できます。

<http://www.cisco.com/go/psirt>

勧告および注意事項が変更された際に、リアルタイムで確認したい場合は、以下の URL から Product Security Incident Response Team Really Simple Syndication (PSIRT RSS) にアクセスできます。

http://www.cisco.com/en/US/products/products_psirt_rss_feed.html

シスコ製品のセキュリティ問題の報告

シスコでは、安全な製品を提供することを目指しています。製品のリリース前に社内でテストを実施し、すべての脆弱性を迅速に修正するように努めております。お客様がシスコ製品の脆弱性を発見したと思われる場合は、次の PSIRT にご連絡ください。

- 緊急度の高い問題 — security-alert@cisco.com
- 緊急度の低い問題 — psirt@cisco.com



ヒント

お客様が第三者に知られたくない情報をシスコに送信する場合、Pretty Good Privacy (PGP) または PGP と互換性のある製品を使用して情報を暗号化することを推奨します。PSIRT は、PGP バージョン 2.x から 8.x と互換性のある暗号化情報を取り扱うことができます。

無効な暗号鍵または失効した暗号鍵は使用しないでください。PSIRT と通信する際は、次の公開鍵サーバの一覧に記載されている有効な公開鍵を使用してください。

<http://pgp.mit.edu:11371/pks/lookup?search=psirt%40cisco.com&op=index&exact=on>

緊急度の高い問題の場合、次の電話番号で PSIRT に問い合わせることができます。

- 1 877 228-7302
- 1 408 525-6532

テクニカル サポート

Cisco Technical Support では、シスコシステムズとサービス契約を結んでいるお客様、パートナー、リセラー、販売店を対象として、評価の高い 24 時間体制のテクニカル サポートを提供しています。Cisco.com の Cisco Technical Support Web サイトでは、広範囲にわたるオンラインでのサポート リソースを提供しています。さらに、Technical Assistance Center (TAC) では、電話でのサポートも提供しています。シスコシステムズとサービス契約を結んでいない場合は、リセラーにお問い合わせください。

Cisco Technical Support Web サイト

Cisco Technical Support Web サイトでは、オンラインで資料やツールを利用して、トラブルシューティングやシスコ製品およびテクノロジーに関する技術上の問題の解決に役立てることができます。Cisco Technical Support Web サイトは、1 年中いつでも利用することができます。次の URL にアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/techsupport>

Cisco Technical Support Web サイト上のツールにアクセスする際は、いずれも Cisco.com のログイン ID およびパスワードが必要です。サービス契約が有効で、ログイン ID またはパスワードを取得していない場合は、次の URL で登録手続きを行ってください。

<http://tools.cisco.com/RPF/register/register.do>



(注)

テクニカル サポートにお問い合わせいただく前に、Cisco Product Identification (CPI) ツールを使用して、製品のシリアル番号をご確認下さい。CPI ツールへは、Documentation & Tools の下にある **Tools & Resources** リンクをクリックして、Cisco Technical Support Web サイトからアクセスできます。Alphabetical Index ドロップダウン リストから **Cisco Product Identification Tool** を選択するか、Alerts & RMAs の下にある **Cisco Product Identification Tool** リンクをクリックしてください。CPI ツールは、製品 ID またはモデル名、ツリー表示、または特定の製品に対する **show** コマンド出力のコピー & ペーストによる 3 つの検索オプションを提供します。検索結果には、シリアル番号のラベルの場所がハイライトされた製品の説明図が表示されます。テクニカル サポートにお問い合わせいただく前に、製品のシリアル番号のラベルを確認し、メモなどに控えておいてください。

Japan TAC Web サイト

Japan TAC Web サイトでは、利用頻度の高い TAC Web サイト (<http://www.cisco.com/tac>) のドキュメントを日本語で提供しています。Japan TAC Web サイトには、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/jp/go/tac>

サポート契約を結んでいない方は、「ゲスト」としてご登録いただくだけで、Japan TAC Web サイトのドキュメントにアクセスできます。

Japan TAC Web サイトにアクセスするには、Cisco.com のログイン ID とパスワードが必要です。ログイン ID とパスワードを取得していない場合は、次の URL にアクセスして登録手続きを行ってください。

<http://www.cisco.com/jp/register/>

Service Request ツールの使用

オンラインの TAC Service Request ツールを使えば、S3 および S4 の問題について最も迅速にテクニカル サポートを受けられます（ネットワークの障害が軽微である場合、あるいは製品情報が必要な場合）。状況をご説明いただくと、TAC Service Request ツールが推奨される解決方法を提供します。これらの推奨リソースを使用しても問題が解決しない場合は、TAC の技術者が対応します。TAC Service Request ツールは次の URL からアクセスできます。

<http://www.cisco.com/techsupport/servicerequest>

問題が S1 または S2 であるか、インターネットにアクセスできない場合は、電話で TAC にご連絡ください（運用中のネットワークがダウンした場合、あるいは重大な障害が発生した場合）。S1 および S2 の問題には TAC の技術者がただちに対応し、業務を円滑に運営できるよう支援します。

電話でテクニカル サポートを受ける際は、次の番号のいずれかをご使用ください。

アジア太平洋 : +61 2 8446 7411（オーストラリア : 1 800 805 227）

EMEA : +32 2 704 55 55

米国 : 1 800 553-2447

TAC の連絡先一覧については、次の URL にアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/techsupport/contacts>

問題の重大度の定義

すべての問題を標準形式で報告するために、問題の重大度を定義しました。

重大度 1 (S1) — ネットワークがダウンし、業務に致命的な損害が発生する場合。24 時間体制であらゆる手段を使用して問題の解決にあたります。

重大度 2 (S2) — ネットワークのパフォーマンスが著しく低下、またはシスコ製品のパフォーマンス低下により業務に重大な影響がある場合。通常の業務時間内にフルタイムで問題の解決にあたります。

重大度 3 (S3) — ネットワークのパフォーマンスが低下しているが、ほとんどの業務運用が機能している場合。通常の業務時間内にサービスの復旧を行います。

重大度 4 (S4) — シスコ製品の機能、インストレーション、基本的なコンフィギュレーションについて、情報または支援が必要で、業務への影響がほとんどまたはまったくない場合。

その他の資料および情報の入手方法

シスコの製品、テクノロジー、およびネットワーク ソリューションに関する情報について、さまざまな資料をオンラインおよび印刷物で入手することができます。

- Cisco Marketplace は、さまざまなシスコの書籍、参考資料、およびロゴ入り商品を提供しています。Cisco Marketplace には、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/go/marketplace/>

- Cisco Press では、ネットワーク、トレーニング、認定関連の出版物を幅広く発行しています。初心者から上級者まで、さまざまな読者向けの出版物があります。Cisco Press の最新の出版情報などについては、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.ciscopress.com>

- 『Packet』は、シスコシステムズが発行するテクニカル ユーザ向けの季刊誌で、インターネットやネットワークへの投資を最大限に活用するのに役立ちます。『Packet』には、ネットワーク分野の最新動向、テクノロジーの進展、およびシスコの製品やソリューションに関する記事をはじめ、ネットワークの配置やトラブルシューティングのヒント、設定例、お客様の事例研究、認定やトレーニングに関する情報、および多数の詳細なオンラインリソースへのリンクが盛り込まれています。『Packet』には、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/packet>

- 『iQ Magazine』は、シスコのテクノロジーを使って収益の増加、ビジネス効率の向上、およびサービスの拡大を図る方法について学ぶことを目的とした、シスコシステムズが発行する成長企業向けの季刊誌です。この季刊誌は、実際の事例研究や事業戦略を用いて、これら企業が直面するさまざまな課題や、問題解決の糸口となるテクノロジーを明確化し、テクノロジーの投資に関して読者が正しい決断を行う手助けをします。『iQ Magazine』には、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/go/iqmagazine>

- 『Internet Protocol Journal』は、インターネットおよびイントラネットの設計、開発、運用を担当するエンジニア向けに、シスコシステムズが発行する季刊誌です。『Internet Protocol Journal』には、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/ipj>

- シスコシステムズは最高水準のネットワーク関連のトレーニングを実施しています。トレーニングの最新情報については、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/en/US/learning/index.html>

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると妨害電波を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対応を講ずるよう要求されることがあります。

このマニュアルは、「[関連資料](#)」に記載されているマニュアルと併せてご利用ください。

CCSP、CCVP、Cisco Square Bridge のロゴ、Follow Me Browsing、StackWise は、Cisco Systems, Inc. の商標です。Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn、iQuick Study は、Cisco Systems, Inc. のサービスマークです。Access Registrar、Aironet、ASIST、BPX、Catalyst、CCDA、CCDP、CCIE、CCIP、CCNA、CCNP、Cisco、Cisco Certified Internetwork Expert のロゴ、Cisco IOS、Cisco Press、Cisco Systems、Cisco Systems Capital、Cisco Systems のロゴ、Cisco Unity、Empowering the Internet Generation、Enterprise/Solver、EtherChannel、EtherFast、EtherSwitch、Fast Step、FormShare、GigaDrive、GigaStack、HomeLink、Internet Quotient、IOS、IP/TV、iQ Expertise、iQ のロゴ、iQ Net Readiness Scorecard、LightStream、Linksys、MeetingPlace、MGX、Networkers のロゴ、Networking Academy、Network Registrar、Packet、PIX、Post-Routing、Pre-Routing、ProConnect、RateMUX、ScriptShare、SlideCast、SMARTnet、StrataView Plus、TeleRouter、The Fastest Way to Increase Your Internet Quotient、TransPath は、米国および一部の国における Cisco Systems, Inc. または関連会社の登録商標です。

このマニュアルまたは Web サイトで言及している他の商標はいずれも、それぞれの所有者のもので、「パートナー」という用語を使用している場合、シスコシステムズと他社とのパートナー関係を意味するものではありません。(0502R)

Copyright © 2004-2005 Cisco Systems, Inc.
All rights reserved.

お問い合わせは、購入された各代理店へご連絡ください。

シスコシステムズでは以下のURLで最新の日本語マニュアルを公開しております。
本書とあわせてご利用ください。

Cisco.com 日本語サイト

http://www.cisco.com/japanese/warp/public/3/jp/service/manual_j/

日本語マニュアルの購入を希望される方は、以下のURLからお申し込みいただけます。

シスコシステムズマニュアルセンター

<http://www2.hipri.com/cisco/>

上記の両サイトで、日本語マニュアルの記述内容に関するご意見もお受けいたしますので、
どうぞご利用ください。

なお、技術内容に関するご質問は、製品を購入された各代理店へお問い合わせください。



シスコシステムズ株式会社

URL:<http://www.cisco.com/jp/>

問合せ URL:<http://www.cisco.com/jp/service/contactcenter/>

〒107-0052 東京都港区赤坂 2-14-27 国際新赤坂ビル東館

TEL.03-5549-6500 FAX.03-5549-6501